

月刊きょうと教育通信

vol. 14 平成16年1月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

北総合養護学校が完成 竣工式・記念フェスティバルを開催

12月20日、全国初の「総合養護学校」として新設する「京都市立北総合養護学校」の竣工式が約600名もの参加者のもと開催されました。

式典は、西養護学校生徒の活気ある和太鼓演奏に始まり、北総合養護学校の地元である成逸住民福祉協議会、飯田修蔵会長からの祝辞、京都市長からのメッセージ、養護学校PTA連絡会による合同コーラス、同久保明彦PTA会長の喜びの言葉など、新しい総合養護学校の完成に対する関係者の喜びに満ちあふれた感動的な式典となり、新たな養護育成教育が京都市から発信されることになりました。

また、20日から4日間、広く市民の方々とともに竣工を祝う「記念フェスティバル」を開催。参加者は約5,000名にのぼり、保護者をはじめ多くの市民の皆さんから期待と関心が寄せられました。



久保養護学校PTA連絡会会長による喜びの言葉

北総合養護学校は、棟から棟へ車椅子でも安全に平面移動できる構造に加え、火災時などに使用できる非常用エレベーターや特別避難階段など、法令上の安全基準をはるかに上回る防災設備を配置。また、肢体不自由や発達遅滞という障害種別の枠を超え、子どもたち一人一人に最も適した教育を行うとともに、小・中学校の児童生徒や保護者に対する相談・支援をはじめ、幅広い教育的ニーズに対応する総合的な学校として、本年4月に開校します。

ご意見・お問合せ＝養護育成課（352-2285）

京都御池中学校・複合施設整備等事業に 5グループが参加

PFI手法による京都御池中学校の新校舎、乳幼児保育所、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター、オフィススペース、御池通の賑わい創出施設等の複合施設整備等事業に、民間事業者5グループからの応募がありました。

この5グループの実績等に基づき、12月17日、学識経験者等11名で構成される審査委員会（会長：村田隆紀京都教育大学学長）が、全グループを第1次審査の合格者（入札参加資格確認者）として決定しました。

今後、5グループからの提案を受けて、本年3月には、事業内容と事業者を選定する第2次審査を入札価格と提案内容を総合的に評価する総合評価一般競争入札形式で実施。環境と人にやさしいものとなる複合施設は、契約議案の市会議決を経て、本年10月に着工、18年4月にオープンする予定です。

ご意見・お問合せ＝京都御池中学校・複合施設建設室（213-1010）

<主なできごと>

- 1月15日 紫野高校出身の綿矢りささんが史上最年少で芥川賞受賞
- 29日 京都市小・中学校育成学級・養護学校大合同作品展「小さな巨匠展」（～2/2、京都市美術館別館）
- 30日 学校歴史博物館企画展「日本初の幼稚園は京都にあった～京都市立幼稚園の歴史をたどる～」（～3/30）
- 2月7日 人づくり連続公開講座・右京フォーラム（午後2時～、右京ふれあい文化館）
- 11日 音楽高校ミニコンサート（午前10時30分～・午後1時～、西文化会館ウエスティ）
- 15日 第18回京都市小学校「大文字」駅伝大会
- 20日 博物館連続公開講座：二条城をテーマにした講演「障壁画という絵画」（午前10時～、市美術館）
- 22日 不登校問題フォーラム（午後2時～、こどもパトナ、藤原勝紀京都大学教授らによるシンポジウム）

本好きな子どもを育むために 読書活動振興市民会議がアピールを提出

「本好き」な子どもを育成するため、作家・学識経験者・市民公募委員・まちの本屋さんの代表など多彩な方の参画により発足した京都市子ども読書活動振興市民会議（座長：樋口和彦京都文教大学学長）が、平成 15 年 12 月 24 日、門川大作教育長へ「子どもの読書活動振興のためのアピール」を提出されました。

市民会議は発足以来、学校での子どもたちの読書活動、ボランティアの方の読み聞かせなどを見学。また、子ども・保護者の読書に対する意識・行動を把握するための全市的なアンケート調査の結果を基にした協議など、10 回に及ぶ会議を重ねられ、その間、「子ども読書フォーラム」の開催や事務局ニュース（全 5 回）の発行など、その活動や協議内容を学校・家庭・地域へ直接発信されました。

このアピールは、子どもたちに本との出会いを数多くつくり、本の楽しさ・素晴らしさを伝えるとともに、本



樋口座長らがアピールを
門川教育長に提出

を読む力を育むため、学校・家庭・地域で大人・子どもに実践すべきことを「伝える」「勧める」「育てる」「整える」の 4 つのテーマに体系化。読まなくなった本を地下鉄や児童館などに置き、再利用できるシステムづくりや学校や図書館とボランティアの方々などが協力できるネットワークづくりなどを提示しています。

なお、市民会議には史上最年少で芥川賞を受賞された綿矢りささんも参画されており、積極的に意見を出していただいています。

本市では今後、アピールを基に来年度のできるだけ早期に「子ども読書活動推進計画」（仮称）を策定し、子どもの読書活動推進のための条件整備に努めます。

ご意見・お問合せ = 社会教育課（ 222-3800 ）

子どもたちに輝く夢と未来を！ 人づくりフォーラム開催



河合代表による挨拶

12 月 14 日、人づくり 21 世紀委員会は、平成 15 年度の取組の集大成の場として、「人づくりフォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、京都市長と河合隼雄代表からの挨拶や山口良治スポーツ政策顧問からの熱意あふれる講演が行われました。また、木村裕一幹事長からの取組報告や「部会」「幹事・実行委員合同協議会」等での議論を踏まえた「人づくり 21 世紀委員会からのメッセージ」が発表されました。

今回は、初めて、参画団体等の活動紹介や体験ブースコーナーの設置が行われるとともに、舞台発表では、子どもたちの器楽演奏や演武、歌、ダンスが披露され、4000 名の参加者を魅了しました。

ご意見・お問合せ = 家庭地域教育支援課（ 222-3590 ）

なんばーわん

他校の運動部に参加

「ブロック内選択制部活動」（政令市初）



近年、生徒数の減少や指導者の減少・高齢化などにより、各学校の運動部の運営に困難な状況が生じてきています。そのため、これまでも「合同部活動」など運動部活動の活性化のための取組を行ってきました。

そうした状況の下、生徒の希望する運動部（種目）が在籍校にない場合があります。その解決策として、新たに平成 13 年度から、政令市で初めて、「ブロック内選択制部活動」を中学校で導入しています。これは、在籍校に希望する運動部（種目）がなくても、ブロック内の他校の運動部に参加できる制度です。

今年度は、昨年度 29 名だった参加者は、本年 1 月の時点で 53 名になり、年々「ブロック内選択制部活動」への関心は高まっています。

ご意見・お問合せ = 体育健康教育室（ 213-5473 ）